

市町村別ごみ処理に関する主要指標（平成25年度実績）

	1人1日当たりのごみの量*1 (g/人・日)		処理しなければならないごみの量*2 (g/人・日)		リサイクル率 (%)		1人当たりの最終処分(埋立)量 (kg/人・年)	
1	幸田町	703	幸田町	506	大口町	38.7	幸田町	10.6
2	あま市	705	岩倉市	568	幸田町	36.9	東海市	12.4
3	大治町	730	江南市	570	田原市	29.7	春日井市	19.3
愛知県平均	940		762		22.7		28.7	

- * 1 ごみ総排出量を1人1日当たりに戻した量
- * 2 ごみ総排出量から資源ごみを引いて1人1日当たりに戻した量

愛知県から発表されたごみ減量に関する指標において、幸田町は4部門のうち3部門が1位、1部門が2位という輝かしい成績を収めました。

ごみの成績で三冠を獲得！
なぜ好成績なの？

好成績の理由その①
資源回収活動が活発



資源回収とは、地域の方々が自宅の前などに出した古紙や缶を子ども会などの団体が集めて古紙業者などに引き渡す活動のことです。

幸田町は資源回収の文化が根付いており、回収量の割合も他市町村に比べ非常に多くなっています。昨年度はPTA、子ども会、父母の会、ガールスカウトなど全48団体が参加し、9品目の資源回収にご協力をいただきました。幸田町は回収実績に応じ、1kg当り6円、なおかつ年度内2回以上の資源回収を実施した場合、1万円加算の報奨金を交付するなど、活動を支援しています。

資源回収とは、地域の方々が自宅の前などに出した古紙や缶を子ども会などの団体が集めて古紙業者などに引き渡す活動のことです。

幸田町は資源回収の文化が根付いており、回収量の割合も他市町村に比べ非常に多くなっています。昨年度はPTA、子ども会、父母の会、ガールスカウトなど全48団体が参加し、9品目の資源回収にご協力をいただきました。幸田町は回収実績に応じ、1kg当り6円、なおかつ年度内2回以上の資源回収を実施した場合、1万円加算の報奨金を交付するなど、活動を支援しています。

ごみ総排出量に対する資源回収割合（平成25年度実績）

	ごみ総排出量	資源回収量	資源回収構成比
幸田町	10,076t	1,545t	約15%
愛知県	2,572,076t	188,816t	約7%



好成绩の理由その②

補助制度を活用した生ごみ減量化の促進

幸田町から排出されるごみの約5割を「燃やすごみ」が占めています。さらにその燃やすごみの約4割を生ごみで占めています。生ごみは水分が多く、臭いもあるため、ごみステーション、収集作業、焼却処理でも多くの問題を抱えています。生ごみを減らすことは、ごみ減量化を進めていく上で非常に重要な要因となっています。

幸田町では、一般家庭から排出される生ごみを処理する容器または機器を購入設置された人へ補助金を交付しており、平成3年度の制度発足から平成26年度までにおいて、処理容器639基、処理機1,403基と多くの皆様にご制度をご活用いただき、ごみ減量化に貢献していただいています。

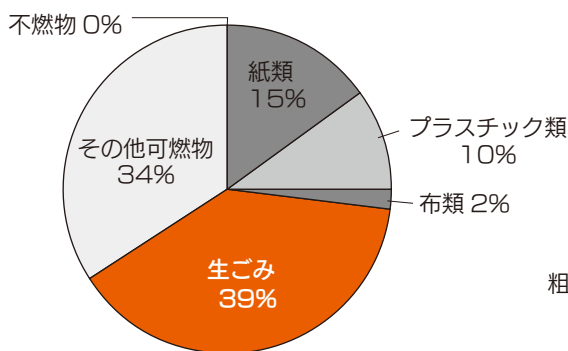
補助額：購入金額の2分の1（100円未満の端数切捨て）。

ただし処理容器（限度額 6,000円/基）、処理機器（限度額 30,000円/基）その他：補助制度活用にあたってはその他条件があります。



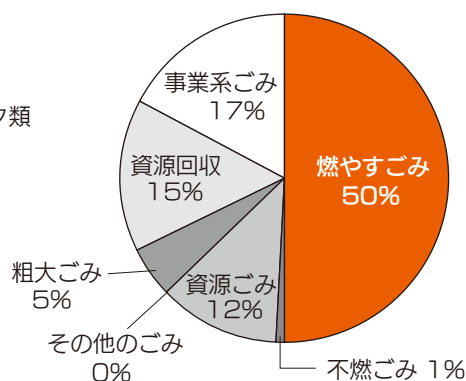
▲生ごみ処理機

燃やすごみの組成分析結果



*平成25年7月1日と11月5日の調査結果の平均より

ごみ排出量の内訳



*平成25年度実績より

好成绩の理由その③

ごみステーション立当番活動で正しい分別の普及



を平成10年5月から全町で行っています。各地域の立当番の方々との適切な指導のおかげで、分別の間違いが少ないことから、リサイクル率が高くなっています。

ごみの排出量は年々増加しており、それにとってもなごみ処理費用も莫大なものとなっています。幸田町では、ごみの減量・資源化のため、分別収集事業

今回ご紹介したごみの減量化に繋がる活動は、ほんの一例に過ぎませんが、どの活動もすべてにおいて町民の皆様の協力で成り立っています。生活していく上で必ず関わる「ごみ」を他人事とせず、今後とも引き続き、ごみ減量化の取り組みに対し、ご理解ご協力をお願いします。

問合せ 環境課ごみ対策G（内線2733）

13品目!

